

投資はロボアドにお任せ

「THEO」で検索してロボアドの実際を無料で試してみる **気になったらここへ**



エイト証券は国内ETFで運用するロボアドをスタート

長期投資の定石は国内外の株・債券に最適な配分で投資すること。だが、実行は難しい。具体的に何を買っていくか分からないし、最適な配分は投資家によって異なる。

そんな初心者向けに証券会社、銀行、運用会社などが一斉に取り組み始めたのが「ロボアドバ イザー（ロボアド）」の提供だ。ウェブサイトで幾つかの質問に答えると個々の投資家の目的やリスク許容度に応じた複数の投資商品と、それぞれに振り向ける金額の割合を示してくれる。手

ドラッグストアのレシートは要保管

1年分のレシートを保管して18年1~3月に確定申告する **気になったらここへ**

家族で年間10万円以上の医療費支出があった場合、10万円を超える額を所得から控除することとで税の還付を受けられるのが医療費控除。サラリーマンが確定申告をする定番理由の1つだ。

セルフメディケーション 税 控除 対象

対象の医薬品には図のようなマークが提示される。大きいと言えれば大きい金額だ。還付を受けるには確定申告が必要になる。なお、10万円を超えた場合は従来の医療費控除を使うことになる。

ロボアドとは?

個人投資家の属性ごとに、分散投資における最適な資産配分を示してくれるサービス

ここがおトク!

即効性のあるお得ワザではないが、長期的には運用成績の向上が見込めるかもしれない

おトク度判定

塚原さん 2点
ロボアドかどうかは重要ではなく、運用実績で商品を選択することが大切。実績の短い商品は避ける

藤川さん 2点
我が国も選択肢が増えてきたが、米国では既に証券会社が無償で提供する時代になっている

横山さん 2点
少額から、ローコストで、手間をかけずに分散投資を始めたい人には力強い味方になるはず

お金回りの新常識

7

〔ロボアド〕

医療費控除特例とは?

2017年1月から一部の市販薬を年1万2000円以上購入すると医療費控除が受けられるようになる

ここがおトク!

一部市販薬に関しては10万円以下でも医療費控除の対象となり、税金の還付が受けられる。

おトク度判定

塚原さん 2点
従来の制度と新制度(OTC等)はいずれかの選択なので留意したい。従来制度が有利な人も多い

藤川さん 1点
新医療費控除は力不足。1万2000円超の対象医薬品購入で効果の出る人はごく限られる

横山さん 1点
医療費を削減するための新しい制度だが、控除対象となる市販薬が決まっているので要注意

お金回りの新常識

8

〔医療費控除の特例〕

不動産担保付き融資で期待利回り10%を狙える

maneoのウェブサイトソーシャルレンディングの仕組みとリスクを学ぶ **気になったらここへ**

不動産担保付きローンファンドを手掛ける主な運営会社

サービス名	期待利回り	概要
maneo	5~8%	国内初のクラウドファンディング運営会社で業界最大手。GMOクリックホールディングスと提携、GMOクリック証券の口座経由での投資も可能に
SBIソーシャルレンディング	2.8~4.3%	不動産担保ローンの貸金業者に融資するファンド。利回りはやや低め。証券担保ローンファンドなども手掛ける
オーナーズブック	5~14.5%	総合不動産会社のロードスターキャピタルが運営。不動産に特化。東京都心のオフィスやマンションなどに投資する。利回りは5%程度が中心

maneoマーケットが募集代理を行うソーシャルレンディング

サービス名	期待利回り	開始年	投資対象
LC LENDING	5~10%	2015年7月	国内不動産
ガイアファンディング	5~10%	2015年10月	米不動産
クラウドリース	5~10%	2016年2月	店舗投資
スマートレンド	5~12%	2016年4月	国内外の事業支援
アメリカンファンディング	5~10%	2016年7月	米不動産
グリーンインフラレンディング	11~12%	2016年9月	国内外の再生可能エネルギー分野

新興国への投資で年利10%も狙える

マネックス証券などが出資するクラウドクレジットは海外投資専門のソーシャルレンディング。直近では東欧の消費者金融への出資で期間7カ月、年率9.6%(手数料控除後)というファンドを募集。為替リスクを取るユーロ建て商品ならさらに高利回りも狙える。



ソーシャルレンディングは投資期間1~2年、数万円程度の少額から投資でき、年率5~10%の利回りが期待できるといって比較的新しい投資商品だ。いつでも買えるわけではなく、自由に解約もできない。元本割れリスクがあり、情報開示も投資信託などに比べると劣るが、その分、利回りは高い。運営企業は個人から集めた資金でファンドを組成し、資金を借りたい中小企業などに審査の上で資金を提供する。その後、利子を含めた返済金を投資家に分配するという仕組みだ。現在の主流は不動産の担保を取った上で中小不動産会社に融資するファンドだ。銀行の貸出金利の低下でソーシャルレンディングの金利も低下しているが、不動産担保付きで10%前後の案件は簡単に見つかる。国内では2008年スタートのマネオが最大手。近年は不動産担保付き融資専門を掲げる運営企業の参入が相次ぎ、にわかに盛り上がりを見せている。確かに金利は魅力的だが、株や投資信託などとは異なるリスクを持つ商品だけに、投資を始めるなら商品性やリスクの理解は必須だ。

お金回りの新常識

6

〔ソーシャルレンディング〕

ソーシャルレンディングとは?

お金を借りたい人と貸したい人をネットを介して結びつけるサービス。運営企業は個人からお金を集め、投資先を審査して融資。返済されたお金を分配する

ここがおトク!

不動産、新興国、新規事業などリスクの高い分野に投資することで、比較的高い利回りを期待できる。少額からの投資も可能なので、分散投資も可能

おトク度判定

塚原さん 2点
仕組みを理解できない人、投資案件を評価できない人は手を出すべきではない。分かる人は価値あり

藤川さん 2点
興味深い仕組みで高利回りが期待できるが、運営会社の信頼性が問われるようになっていくはず

横山さん 2点
少額から出資でき、利回りが良いと言われるが、貸し倒れリスクはある。不動産担保型も要注意

老後

スマホ

公共料金

カーライフ

フリマ

投資

ロボアド

税金